

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期美里町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県遠田郡美里町

3 地域再生計画の区域

宮城県遠田郡美里町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、2006年1月に旧小牛田町と旧南郷町が合併し、誕生した町である。

宮城県の北部に広がる大崎平野の南端に位置し、平たんな土地が74.99k㎡にわたって広がっている。山がない地形に加え、鳴瀬川と江合川の河川にも恵まれ、古くから稲作が盛んに行われてきた。また、東北本線、陸羽東線及び石巻線が交わるJR小牛田駅は、鉄道交通の要衝として、多くの通勤・通学する人に利用されている。

本町の人口は、1985年から減少傾向で推移している。2020年に実施した国勢調査では23,994人となり、2015年に実施した前回の国勢調査と比較すると858人減少している。

また、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が令和5年に算出した本町の2040年の推計人口は18,554人となっており、今後も、人口減少が続くことが見込まれている。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1985年の6,290人から減少し、2020年には2,628人となる一方、老年人口（65歳以上）は1985年の3,468人から2020年には8,547人と増加の一途をたどっており、少子高齢化が更に進行することが想定されている。また、生産年齢人口についても1985年の19,104人から減少傾向にあり、2020年には12,743人となっている。

本町の自然動態をみると、出生数は2006年の170人から2020年には98人と減

少している。一方、死亡数は2020年には346人となり、増加傾向が続いていることから、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は248人の減となっている。

社会動態をみると、2006年には転入者数が772人であったのに対し、転出者数は937人となり、165人の社会減であったが、2020年には転入者数が679人、転出者が613人となり、66人の社会増に転じている。

2025年における町の目標人口、社人研及び宮城県の推計人口を比較した場合、町の目標人口22,610人に対し、社人研の推計人口は22,587人、宮城県の推計人口は22,373人（2025年10月時点）となり、総数では同水準にあるが、年齢階層別で比較した場合にはかい離が生じている状況にある。

主に若年世代のかい離が大きい傾向にあり、目標人口達成には若年世代の獲得に向けた施策展開の重要性が示唆されている。

本町は2024年4月、人口戦略会議が公表した「地方自治体持続可能性分析レポート」において、かつての「消滅可能性自治体」という評価から脱却したとされた。これは大きな前進ではあるが、依然として出生数の減少や若者の転出による人口減少は大きな課題として残されている。

東日本大震災後には駅東地区への内陸移転が進み、子育て世帯の転入も見られた。この事例は、新たな住環境の整備が人口減少抑制に有効であることを改めて示すものである。今後は、町有地や空き家の利活用を進め、民間の力も取り入れながら、より良い住環境の創出を一層推し進めていく必要がある。

また、若者や女性にとって魅力ある地域となるためには、「働く」「育てる」「暮らす」という安心を確保することが欠かせない。雇用の創出、子育て・教育支援の充実に加え、文化・スポーツや地域活動を通じて、多様で豊かなライフスタイルを提供することが求められる。

こうした取組を進めるため、子育て支援と移住・定住支援を連動させ、新中学校を核とした教育・地域連携、産業振興を推進する。さらに、福祉の充実や脱炭素社会の実現、廃校の利活用などを組み合わせることで、人口減少を抑制しつつ、その進行を見据えた持続可能な施策を推進し、地域に好循環を生み出していく。

なお、これらに取り組むにあたって次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- 基本目標 1 心わきたつまちづくり
- 基本目標 2 心わきたつ学びと人づくり
- 基本目標 3 心わきたつ子育てと健康長寿
- 基本目標 4 心わきたつ産業と挑戦のチカラ
- 基本目標 5 心わきたつ生活環境
- 基本目標 6 心わきたつ未来を支える

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内人口の社会増数（計画期間中累計）	△68人	450人	基本目標 1
ア	空き家バンク契約件数（計画期間中累計）	10件	33件	基本目標 1
ア	美里町の温室効果ガス排出削減割合	35.3%	35.3%以上	基本目標 1
ア	非核平和推進事業への参加者数（計画期間中累計）	2,790人	3,110人	基本目標 1
イ	全国学力・学習状況調査における宮城県平均正答率（仙台市を除く。）とのかい離（小学6年生、中学3年生）	△2.3 p t	1 p t	基本目標 2
イ	地域学校連携室を起点とした生涯学習事業数（令和8年度以降に新たに開始したもの）	0事業	6事業	基本目標 2
ウ	子育て支援センター未就	23.6%	27.5%	基本目標 3

	学児利用率			
ウ	訪問予防接種者数	148人	200人	基本目標 3
ウ	くらしのサポーター数	94人	120人	基本目標 3
ウ	理解促進研修・啓発事業 研修会への参加人数	39人	45人	基本目標 3
エ	経営規模が30ヘクタール以上の大規模経営体数	10経営体	13経営体	基本目標 4
エ	企業等の農業参入及び新規就農者の件数（計画期間中累計）	4件	10件	基本目標 4
エ	担い手への農地集積率	77.6%	90.0%	基本目標 4
エ	空き店舗を活用した開業・開店件数	0件	3件	基本目標 4
エ	ふるさと応援寄附金にかかる返礼品創出数	24商品	30商品以上	基本目標 4
オ	災害情報等を発信する「みやぎ防災アプリ」の登録者数	8,732人	11,200人	基本目標 5
オ	汚水処理人口普及率	90.9%	96.1%	基本目標 5
カ	オンライン申請件数	2,985件	5,000件	基本目標 6
カ	SNS累計登録者数	5,665人	7,500人	基本目標 6
カ	公共施設延べ床面積	143,000㎡	124,000㎡	基本目標 6
カ	ふるさと納税寄附金額	2,072万円	6,000万円	基本目標 6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

美里町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 心わきたつまちづくり推進事業
- イ 心わきたつ学びと人づくり推進事業
- ウ 心わきたつ子育てと健康長寿推進事業
- エ 心わきたつ産業と挑戦のチカラ推進事業
- オ 心わきたつ生活環境推進事業
- カ 心わきたつ未来を支える推進事業

② 事業の内容

ア 心わきたつまちづくり推進事業

移住・定住を促進するため、民間事業者と連携した住宅開発の取組を推進するとともに、空き家・空き地等の有効活用を促進し、新たな住環境を創出する。

また、脱炭素社会の実現に向けた取組、多彩な住民活動や交流機会の創出など、町の魅力発信をとおして、関係人口の拡大を図る。

さらに、子育て・教育支援、DX、健康づくり、雇用対策、防災力向上、生活環境基盤の整備などの取組と連携した人口減少抑制対策を包括的に実施し、同時に人口減少社会に適応した持続可能な施策を展開する。

人をひき寄せる「心わきたつまちづくり」を広げる。

【具体的な施策】

- 施策1 移住・定住を促進するための対策
- 施策2 地域公共交通を充実するための対策
- 施策3 再生可能エネルギーの利用促進と脱炭素の推進
- 施策4 地域運営組織・住民活動を活性化させるための対策
- 施策5 関係人口の拡大と住民交流を促進するための対策
- 施策6 非核・平和社会の理念の継承 等

イ 心わきたつ学びと人づくり推進事業

子どもたちが将来にわたり社会で力強く生き抜くための「生きる力」を育むため、基礎学力の定着に加え、体験的な学びやICT端末をいかした学び、協働的な学びを重視した教育活動を推進する。また、いじめ、不登校、特別な支援が必要な児童生徒等に寄り添い、すべての児童生徒が安心して学べる環境を保障する。

加えて、少子化の進行を見据え、地域との協働による学校運営を進めるとともに、教育環境のあり方についても、より効果的・持続的な視点から検討を重ねていく。

さらに、美里中学校を中核とした学習環境を最大限にいかし、住民のライフスタイルや多様な学習ニーズに応じた学習機会の提供に努める。

ともに学び、ともに育つ「心わきたつ学びと人づくり」を紡ぐ。

【具体的な施策】

- 施策7 学校教育の充実
- 施策8 学びのセーフティネットの構築
- 施策9 教育を振興するための基盤整備
- 施策10 生涯学習の充実 等

ウ 心わきたつ子育てと健康長寿推進事業

妊娠から子育てまで切れ目なく支援する体制を強化し、子育て家庭の多様な課題に対応する。地域ぐるみの支援体制を築き、安心して子育てができる環境を整える。

また、健康診査等の受診率を高め、疾病の予防や早期発見・早期治療につなげることにより、住民の健康寿命の延伸を図る。

誰もがいきいきと活躍できる「心わきたつ子育てと健康長寿」を育む。

【具体的な施策】

- 施策11 多様な子育て家庭を応援する環境づくりの推進
- 施策12 子育てのよろこびを広げる安心サポートの充実
- 施策13 児童虐待を防止するための対策
- 施策14 生活習慣病などから住民を守るための保健活動の推進

- 施策 1 5 健やかな母子保健活動の推進
- 施策 1 6 救急・広域・地域医療体制の整備
- 施策 1 7 医療サービスの提供と公立病院経営の両立
- 施策 1 8 高齢者が安心して暮らすための対策
- 施策 1 9 地域で支え合う社会の充実
- 施策 2 0 障害のある方が安心して暮らせる地域づくりの推進 等

エ 心わきたつ産業と挑戦のチカラ推進事業

地域産業をけん引する担い手の確保・育成に努めるとともに、農業や中小企業等の経営基盤強化に向けた取組を支援する。

また、意欲ある農業者に対する農地の集約支援、事業拡大を目指す中小企業等への資金融通と雇用の促進、空き店舗等を活用した新規出店や事業承継の促進を図る。

さらに、地域資源である鉄道などの魅力をいかした観光資源の磨き上げを行うとともに、美里町農産物直売所の機能強化を通じて、地域の経済循環を促進する。

新たな挑戦を支える「心わきたつ産業と挑戦のチカラ」を拓く。

【具体的な施策】

- 施策 2 1 担い手の確保と魅力ある農業の展開
- 施策 2 2 農地流動化の促進
- 施策 2 3 農村機能及び生産基盤の維持
- 施策 2 4 畜産経営の安定化
- 施策 2 5 商工業を振興するための対策
- 施策 2 6 物産・観光を振興するための対策 等

オ 心わきたつ生活環境推進事業

大規模地震や激甚化、頻発化する気象災害への備えとして、住民一人一人の防災意識や「自助」「共助」「公助」の取組が重要となる。関係団体との連携強化と住民の防災意識の高揚に努め、地域防災力の向上を図る。

一方、高度経済成長期に集中的に整備された生活基盤施設の老朽化が進行していることから、社会経済活動の基盤となる道路・上下水道等の施設について、計画的な整備と維持管理を進める。

安全・安心で快適に暮らせる環境は、魅力あるまちづくりの土台である。暮らしを守り未来へつなぐ「心わきたつ生活環境」を整える。

【具体的な施策】

施策 2 7 安全、安心な防災・消防体制を確立するための対策

施策 2 8 安全・安心な交通環境、防犯体制を確立するための対策

施策 2 9 安全・安心な生活環境基盤の整備

施策 3 0 生活環境や自然環境を保全するための対策

施策 3 1 水道水を安定して供給するための対策

施策 3 2 下水道を普及推進するための対策 等

カ 心わきたつ未来を支える推進事業

行政運営においては、限られた資源を有効に活用し、効率的かつ効果的な行政サービスの提供を図る。

財政運営においては、税収の基盤となる生産年齢人口の減少や高齢化に伴う社会保障関係経費の増加といった構造的課題を踏まえ、歳入の安定的な確保と歳出の適正な管理に努める。

また、公共施設の老朽化が進行する中、施設の集約化や複合化、長寿命化対策などを計画的に進め、施設管理の最適化を図る。

持続可能な仕組みで「心わきたつ」未来を支える。

【具体的な施策】

施策 3 3 行政運営の効率化とDXの推進

施策 3 4 公共施設を総合的・計画的に管理するための対策

施策 3 5 財政を健全化するための対策 等

※なお、詳細は第2次美里町総合計画・総合戦略第3期基本計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

700,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

第2次美里町総合計画・総合戦略第3期基本計画と併せて、毎年9月頃を目途にKPIの進捗管理を行うとともに、「主要な施策の成果」について、本町公式WEBサイト上で公表する。外部有識者による事業評価等を実施し、事業の改善に努める。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで